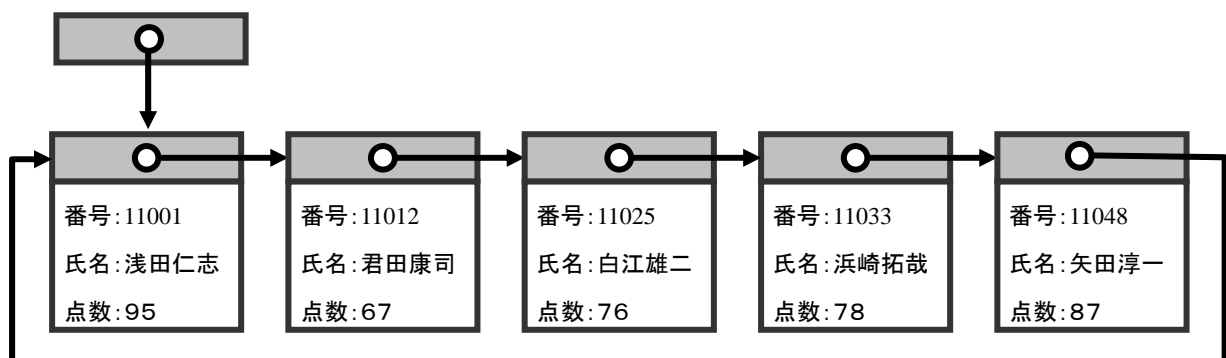


3.6 循環・重連結リスト

(1) 循環リスト

末尾ノードに先頭ノードを指すポインタを入れることで、環状に並んだデータの並びを自然な形で表現できます。このようなリストを循環リスト(circular list)と呼びます。



線形リストに、以下の下線部のような処理を追加することで、循環リストを表現することができます。

```
long P1,P2; 初期化(); DataP=-1;
データ登録(1,"福 田 武 夫",40);
データ登録(2,"佐 藤 栄 二",20);
.
.
.
データ登録(8,"澤 田 幸 一",30);
DataArea[last(DataP)].Next=DataP;
```

ボタン(button1)をクリックすると、リストボックスの選択位置が変更されるようなプログラムを作って確認してみましょう。

なお、線形リストの最後の検出は、空ポインタで判定しますが、循環リストでは、先頭ポインタと同じであれば最後として判定します。